

シルバー 人材センター会報

社団法人
流山市
シルバー人材センター
事務所
流山市東初石3-103-18
電話
0471-55-3669



会長
及川 正一

何事も経験 体験より生み出そう

昨年十一月に設立されました千葉県シルバー人材センター協会も、平成四年四月一日から千葉市中央区末広三丁目十七番十五号の千葉市シルバー人材センター内に単独事務局を設置し本格的な業務開始に向けスタートし、六月八日協会設立記念大会を千葉市幕張の障害者職業総合センターで、千葉県と県内の社団法人十七センター、財団法人二、任意団体等の共催で開催されました。当シルバーセンターからも役員一同参列し、協会リーダーの基に各センター発展のため協力を求めて参りました。以上協会設立に伴なって事業開始、県下シルバーセンターを三ブロックに分け東葛プロ

ック五市より植木剪定希望者(初心者優先)を募り協会事業のトップを切って技術(能)講習会を十月二日、柏駅前東口丸井百貨店ビル三階の会議室で講習会の後、柏中学の校庭内で実技を実施しました。二十名程の参加でしたが、当センターより四名の方が参加されております。次回は十一月十七日に襖、障子の講習会を同一場所で開催される事になっておりますので、是非此の機会に多数のご参加をお願いします。

受注に対し就労者不足は当センターに限りませんが、戦力の一員となっていたいただき、顧客の要望に添えていきたいものです。同志の会員の皆さん、シルバー人材センター、理念の共働共助をネットワークにおき健康である限り就労を通して「人と人」との出逢いを大切に生きがいとしたいものです。

第十七回通常総会

(四、三、二五)



前年度会員数 三二一名
本年度会員数 三三二名

高齢者の能力をいかした活力ある地域社会づくりをめざしましょう。

第十七回(四、三、二五)

通常総会

会場 江戸川台福祉会館

一、議案

平成四年度事業計画案
平成四年度収支予算案

二、概要

(1) 及川会長あいさつ

会員総数三三二名に達し
今後は四〇〇名を目標に努力中でありますので、皆様の御協力をとの挨拶。

(2) 来賓の祝辞を受ける。

眉山市長、小久保市議会議長、館野・北角両県会議員、真通社協会長、村山流老連会長紹介、福祉部茅野次長。

第一号、二号議案一括説明。質疑の後原案どおり承認を得る。

◎ 平成四年度事業計画案

(1) 事業方針

高齢者自らの能力と経験を生かし、地域社会に参加貢献することにより生がいの充実

健康と福祉の増進に努める。

(2) 基本方針

実技希望者(植木の手入れ、襖、障子の張替え、除草、機械刈)塗装等)を職群責任者が中心となって適格者を選び講習、訓練を実施するものとし、事業拡張の基盤を築くための技術を修得しその向上を図る。

。就業、会員の増員について。会報の発行、市広報に掲載して、活動状況をPRし、さらには会員自身が会員募集に

推進、新会員の増員に努める。役員研修旅行(十月)

。会報の発行(十一月予定)

。互助会主催、会員研修旅行(平成五年二月予定)

(3) 組織及び運営体制の充実

。事業のより効果的な運営と推進を図るため、理事会、専門部会の充実を図る。

(4) 就業安全対策について徹底指導並びに施策

第十八回(四、五、二八)

通常総会

会場 江戸川台福祉会館



会長あいさつ

会員総数及び事業実績の大幅の伸び等についてあいさつ。

次に来賓祝辞、流山市長代理、福祉部世古次長、館野県会議員、北角県会議員の暖かい支援のメッセージの後、議長岡村三郎氏の議事進行により総会が始まり、事務局長、第一号議案、第二号議案の一括説明、質疑の後賛成多数で二議案承認、続いての第三号議案についても賛成承認。

事業報告

市民のご理解と市内事業所の御協力及び会員の誠意ある就労により、事業収入は予想を上回ることができた。

収入額、一億一千五百六十七万八千四百五円、受託件数一千八百二件、就労人員は、延四千二百一人、月平均三百五十人、三万三千六百二十七人が就労。就労率は七七、三%。

会員総数 三三二名

出席会員 二六六名

議案

平成三年度事業報告

平成三年度収支予算

理事及び監事の選任

理事会報告

平成三年度

第四回(三、十、十一)

一、自転車駐車場の条例制定について

二、会員増員対策について

三、会報発行の経過報告について

四、会員研修旅行について

(1)平成四年度より実施を予定している駐輪場の有料化についての利用者登録を市では、十一月一日から各駅で受付、初石、南流山については除外する。

(2)会員増員については、九月末現在で三十一名、目標を三五〇名としたい。

(3)会報発行の経過について、久下沼委員長より報告。

(4)互助会の会員旅行については、前回までは、二回に分けて実施したが、今回は一回に変更したので了解を。

第五回(四、三、二)

一、平成四年度予算案について

(1)事務局長より平和台作業所の市の負担金について若干の誤差が出たので総枠でなく、細部にわたって補助対象内外の数字を動かした。

経費はセンター持ちになるための操作である。議会でカットされたため変更されたので御承認願いたい。又

年当り六五万の赤字が二、三年つづく場合考慮しておくことにした。リサイクル活動を展開する予定である。

(2)犬養理事より主体制をあく迄もってゆく姿勢で取り組む。

久下沼理事よりは会員増に結すべし努力を、岩瀬理事より六五万の赤字覚悟での賛成意見が多数あり、議長もとにかくやってみて、地区の役員の協力でバックアップ願いたいとの話がある。

った。

(3)事務局より、勤総勤務一名、体育課二名不足、各駐輪場十名の不足を役員の力を借りて対応願いたい。

平成四年度

第一回(四、七、十)

一、駐輪場管理について
局長、就労に関する規約について説明。特に服装、就労時間については是正するよう求める。

二、リサイクル事業について
東京武蔵野市の視察内容の説明、平和台の施設の名称は流山市高齢者福祉作業所とし、通称シルバーリサイクルセンターと呼ぶ。そのため看板を二枚作る。

三、地区班長、職群責任者の役割について

四、リサイクル活動について
事業開始は七月は準備で八月から活動したい。仕事は当初、襖、障子と自転車の

リサイクルを考えている。従事者は、襖、障子・小熊、矢野、山本さん、自転車、

甲田、血矢、平木、村上、水川さん、常時五人位で実

施。作業時間は九時〜三時、月六〇台、最初は四〇台を

目標にしたい。

準備として、表の入口に扉をつけ、屋根下に日さしをつける。

五、役員研修旅行について

十月二八日・二九日、鹿沼市シルバー人材センター、

鹿沼市シルバー十周年記念事業の内容を主として研修。

六、その他

身分証明書、健康手帳について中身の説明。互助会の

慶弔で配偶者死亡に五千元を支給することを犬養互助

会会長より提案了承する。



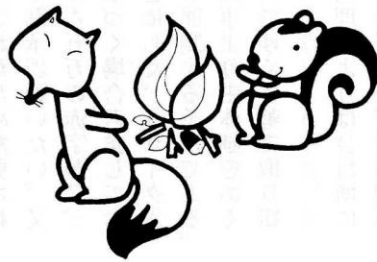
シルバーは自主自律共働共助の基本理念です。

シルバーは法律で指定された団体で公益法人です。

第二回(四、九、九)

- 一、会報発行について
- 二、平成四年度補正予算について
- 三、平和台高齢者福祉作業所開設について
- 四、公益法人検査の結果について
- (1) 局長から会報発行の経過及び発行予定日について説明。発行予定、十一月中旬
- (2) 補正予算は平和台高齢者福祉作業所の準備のための補正であり、予算額については事業費、二百八十八万二千元、管理費、七十七万一千円。
- (3) 平和台高齢者福祉作業所の開設経過説明(開設、九月一日)

(4) 公益法人検査の結果について、去る九月八日、県の公益法人検査を受ける。結果は概ね良好との講評であった。



安全就業
対策委員会

委員長 犬養 吉胤

シルバー人材センターの活動成果を高め、会員の生きがい就業の実現を図るためには、その基礎となる安全就業の確保が不可欠であります。全シ協の「安全心得一〇訓」

会報を通じ安全就業の訴えを致します。

- 一、作業は安全第一を心掛け急いでありあわてたりしないこと。

- 一、器具類は使用する前に必ず点検すること。
- 一、服装履物は作業に合った動きやすいものにする。
- 一、作業前には軽い柔軟体操をして身体をほぐすこと。
- 一、年をとるに従い諸機能が低下することを十分認識し無理をしないこと。
- 一、作業現場は、常に整理整頓に心掛けること。
- 一、共同作業では合図、連絡を正確に行うこと。
- 一、酒気を帯びての就業は絶対につつしむこと。
- 一、健康に常に注意し、健康な状態で就業すること。
- 一、仕事の前日は十分睡眠をとるように心掛けること。

転車利用する人、交通ルールを必ず守り、事故を起こさない、あわてないよう気をつけましょう。

又新に仕事の注文がある、又見積の時は必ず業務担当が下見して仕事の内容が危険なものではなく有害性のないことの確認も必要であります。当センターで現在までの事故件数五件発生しております。就業先との往復の事故が多くなっております。自転車での往復の場合など急がず道をゆづり合うことも安全につながることであります。

センターから提供された就業は、労災保険の適用がありません。そこで開発されたのがシルバー保険です。入会と同時にこの保険が適用されます。みんなで守ろう安全心得、就業する前によく心に入れて事故なく、本年度は無事故で就業されますよう、御協力お願い致します。

新役員紹介

第十八回通常総会において次のおり新役員が選出されました。今後二年間会員の方々の御協力をよろしくお願ひします。



理事
出雲 雅成
(二地区)



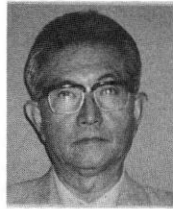
理事
河内 正八
(一地区)



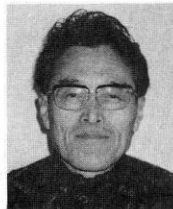
副会長
久下 沼 満
(九地区)



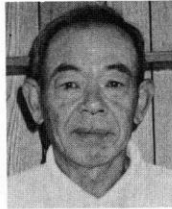
会 長
及川 正一
(植裁)



理事
増沢 茂
(七地区)



理事
植草 実
(六地区)



理事
中園 利男
(五地区)



理事
大谷喜一郎
(四地区)



理事
麻生 修
(三地区)



理事
小熊 秀雄
(工法)



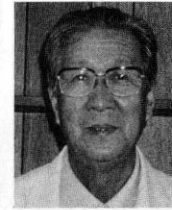
理事
高橋 忠文
(駐車場南)



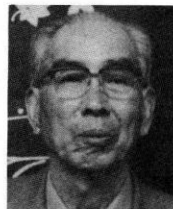
理事
犬養 吉胤
(駐車場北)



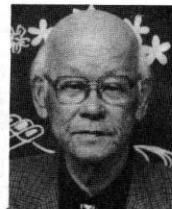
理事
鶴丸貴美男
(十地区)



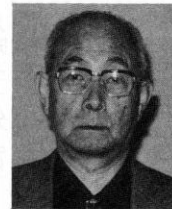
理事
松谷 幸一
(八地区)



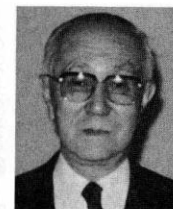
顧問
穴倉安三郎



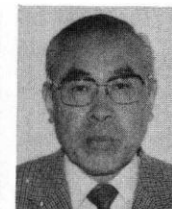
顧問
名越 輝彦



監 査
前田 近徳



監 査
牧野 秀夫



理事
塩島 性一
(公共)

センターでは、働く会員を募集しております。

専門部会及び
理事担当職務

(1) 専門部会	会長 久下沼 満	役員	岡村 三郎
副会長 犬養 吉胤	監事	植草 実	
部員	高橋 忠文	青木 長子	
増沢 河内 正八	会 計	牧野 秀夫	
増沢 河内 正八	中山 百合子		
(2) 会員会報委員会	責任者 久下沼 満	(5) 平和台福祉作業所 管理運営委員会	
委員長 塩島 性一	副責任者 高橋 忠文	担当者 渡辺 四郎	
副委員長 岡村 三郎			
担当者 佐藤 範一			
(3) 安全就業対策委員会	会長 及川 正一	(6) 十周年記念事業 推進委員会	
委員長 犬養 吉胤	副会長 久下沼 満	委員長 犬養 吉胤	
委員 小熊 秀雄	委員 高橋 忠文	委員 高橋 忠文	
松谷 幸一	委員 高橋 忠文	委員 高橋 忠文	
出雲 雅成	委員 高橋 忠文	委員 高橋 忠文	
中園 利男	委員 高橋 忠文	委員 高橋 忠文	
大谷 喜一郎	委員 高橋 忠文	委員 高橋 忠文	
(4) 互助会役員	担当者 柳澤 恒彦	担当者 柳澤 恒彦	
会長 犬養 吉胤			
副会長 高橋 忠文			

会員の福利とふれあいの
互助会について

会長 犬養 吉胤

シルバーセンターの会員が相互に助け合い、親睦を図りながら、会員のふれあいを図りたのしく働いていこうとの目的で互助会が発足して三年目になり平成四年度予算は、会員の方々のご意見も入れ左記の様に決定しましたので計画をお知らせ致します。

一、給付事業の弔慰金に会員の配偶者が不幸で亡くなられた折に、弔慰金を支出することに致しました。
二、研修旅行についても親睦を目的とする会員の一泊二日の旅行で出来る限り多数の会員が参加できるように就労の少い時期亦旅行先等現在検討中です。早目に連絡致しますので多数の会員の参加を希望しております。
三、健康講座については健康で明るく働く喜びと生きがい

のためと、会員の交流と合せ、本年度は午前中は会員の懇談会をシルバー主催で行い、午後より互助会主催による健康講座を市民生活部健康管理課よりお願いして、自分自身の健康を守り、からだいつまでもすこやかに、をテーマに特に高齢者の健康管理を重点に、来る十一月十六日午前九時三十分より十六時まで、場所は流山市初石公民館にて行います。尚昼食も軽食ですが準備しますので召し上り乍ら健康法を見つけて高齢者の人生を充実され、明日よりの就業の一助としていただきませう、多数のご参加を希望しております。
又、前年度より計画の健康手帖について、会員の希望、シルバーセンター理事会での検討を頂き、手帖の自身に、会員の身分証明、シルバー会員の自覚、緊急連絡先、健保の控、安全心得等々に余白を入

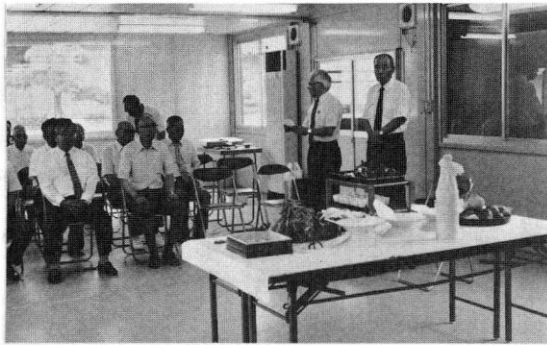
れ充実した手帖をシルバー共
催で配布する事になりました。
就業の安全確保が最優先です。
その安全対策の一助として、
健康手帖熟読され就労の場合、
必ず身につけ活用していただ
きたいと存じます。シルバー
センター十周年を迎えようと
しております。会員に豊かさ
や生きがいを感じさせる様な
センターの運営が求められる
中で今後も会員互助会の福利
厚生を一層重点的に考えたい
と役員一同考えております。

物 故 者

池田 芳一(四、一月)
原田 一雄(〃 三月)
西島 菊三(〃 五月)
麻生 秀子(〃 五月)
井口友太郎(〃 五月)
谷川 正義(〃 八月)
石島 周司(〃 九月)
安川 庄平(〃 九月)
謹んでご冥福をお祈り申し
上げます。

安全に注意して元気で就業。

平和台高齢者福祉作業所
南の拠点となる作業所が共
る九月一日平和台にオープン。
作業は自転車のリサイクル
と襖、障子の張り替えを現在
行なっています。更に家具、
家電等一般家庭で不要となっ
たものをリサイクルし、多く
の会員の就労の場としたいと
思っております。



勤労者体育施設内に
プールオープン

シルバー人材センターで管
理を委託されている、勤労者
体育施設のプールが、六月十
三日にオープンし、連日大勢の
利用者で大盛況のうちに、九
月末日に終了。その後は、テ
ニスやゲートボール場に早変
り。
期間中プールの利用者は約
三万五千人。



役員視察

去る六月二十五日、役員がリサイクル事業を研修するために、武蔵野市シルバー人材センターを視察しました。

武蔵野市の状況と内容
自転車、家具、家電、衣類、その他家庭で粗大ごみとして出される物をリサイクルして、資源の再利用とごみの減量を図っている。

内容は再生品を販売し、その売上金で会員の配分金とし、就労時間は午前九時から午後三時、販売価格は安くし、特殊な物を除き、おおむね五千円以内。購入希望者が多く、これをさばくのに手一杯の現状であるようです。なお従事する会員は根気よく取り組んでいるそうです。



十周年記念

事業について

流山市シルバー人材センターも発足して、早や十年を迎えようとしております。此の間会員の皆様方には、絶大な御支援と御協力があったればこそ、無事に十周年を迎えられることと思います。その御苦勞を感謝申し上げます。他にも質素ながら、かつ盛大な十周年記念大会にしたいものです。どうぞご協力を。

記念事業内容

- 期日 平成五年六月予定
- 創立十周年記念式典
- 十周年のあゆみ発行
- 発注者、会員、役員表彰
- 記念事業を円滑に実施するために、実行委員会の中に小委員会を設置しました。

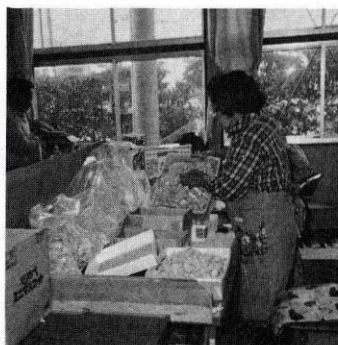
委員名

- (一) 十周年のあゆみ編集委員
犬養吉胤(長)・植草実・松谷幸一・鶴丸貴美男・塩島性

- 一・牧野秀夫・柳沢局長・佐藤次長

(二) 式典、表彰委員

- (長)久下沼満・河内庄八・出雲雅成・麻生修・中園利男・高橋忠文・小熊秀雄・前田近徳・吉野所長の各氏が任命されました。





会員研修旅行について

副会長 久下沼 満

会員研修旅行については、昨年十月の互助会役員会におい

て、一、二班に分けて実施した前回の経緯を検討し、今回は次の四点を確認しました。

- (1) 遠距離旅行を避け房総方面とする。
- (2) 市のバス利用を申請し一回で実施する。
- (3) 参加し易い業務閑散な冬季の期日とする。
- (4) 個人負担は一三、〇〇〇円程度、互助会の補助は四〇〇〇円とする。

市バス提供が平成四年二月二十四、二十五日の両日となり、実施期日がきまる。宿泊地は「クアハウス勝浦パークランドホテル」とし、直に旅行案内を全会員に行い、七十名の希望がありました。最終的には六十名参加となりました。

今回御多忙中にも拘らず青野福祉部長が参加して頂き、親しく会員との交歓の機会を持って幸いでした。二十四日(月)はどんよりとした空模様、九時に市役所を出発

し二台のバスは国道十六号を経由し、千葉ドライブインに休憩後は左折し国道二九七号房総横断の進路となる。一号車犬養、渡辺幹事、二号車は久下沼、石山幹事が分乗し、あらかじめ用意しました飲物

詰物も消化され、車外の空模様に引き替え体の中は大分おしめりが入るにつれ、バス内は幹事さんの名司会により次々と唄などが披露され賑やかなうちに笠森観音に着いてしまふ。ここで昼食休憩、観音参りの後、大多喜城は休憩のみ、次の月の砂漠記念館に着く頃には雨も本降りとなってしまふ。やむを得ず予定を変更しホテルに向う。ホテルでは浴場、温泉プールでゆっくり汗を流したり、部屋で寛ぎ宴会の時刻となる。犬養副会長司会により青野部長、及川会長、互助会長等の挨拶が続き、酒、ビールが入ると昼間の分が加わりたちまち座は盛

り上りホテルサービスの舞踊に引続き愈々演芸大会となる。男女揃ってのお色気踊り、演歌、民謡と日頃のノド自慢が披露され盛況裡に宴は終了し、あとは各々の部屋で夜の更けるまで語り合う。

翌二十五日はお日様も顔出して九時出発、南房総へと向う。途中清澄寺を見学、昔を偲ぶやがて白浜に到着する。うしろにのこぎり山を背に南は太平洋の波のうち寄せる南国情緒のある環境。お花畑などを散策のあと館山を経由し浜金谷にて昼食休憩。ここからは千葉を経て家路にバス毎流れ解散となりますので昼食の席で互助会長より一泊二日の旅行が事故もなく運せたことを感謝する旨の挨拶を行う。今回は市のバスの使用等で予定より安く実施できましたので一部還付することができました。

健康に常に注意し、就業致しましょう。

就任の御挨拶



流山市福祉部長
染谷 功

流山市シルバー人材センターの会員の皆様、去る四月一日に市福祉部長に就任致しました染谷功でございます。適当な機会が得られず大変遅くなりましたが、貴会報の紙面をお借り致しまして、一言御挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、日々健やかにお仕事に御精励のこととお喜び申し上げます。

さて、経済後進国でありました戦後の我が国を今日の経済大国に育てられたのは、皆様方であり、その御苦労と御努力に心から敬意と感謝を申し上げますたいと存じます。既に、現役の第一線からは退かれ、多くの方々は、経済的にも恵まれ悠悠自適の身分にも拘わらず、敢えて再び就業の途を

選ばれたのは、一体何故でしょうか。動機は様々でしょうが、共通して申し上げられることは、就業による社会参加と自己実現を図ることにあるものと推察するものであります。

いずれに致しましても、シルバー人材センターを通じての就業は、生甲斐と健康づくりに加えて社会参加と社会奉仕の精神が大切であり、現役時代の生活のための就業とは大きく異なるべきものであると存じます。

高齢者の就業は、生活のためではなく、御自身の人生を心ゆくまで生き、御自身の幸福を嚙締めるためのものであると存じます。

幸にも、皆様のお仕事は、市民の方から直接頂く仕事は、主体ですから、どうか、仕事を通じて多くの市民の方々と心の触れ合い、魂の触れ合いを図り、そこから掛替えのな

い貴重な喜びや笑いや楽しみをそして心の安らぎを見い出され、自ら心豊かなまちづくりに参画して頂きたいと存じます。

そのような働く場所と機会づくりは、シルバー人材センターの及川会長さん初め役員の方々の最も重要な任務であります。この七月には平和台に新たな高齢者福祉作業所を開設したところでありますので、今後の活用を御期待申し上げます。

特に、二十一世紀の平成二十二年には、国民の五人に一人強の方が六十五歳以上と言う高齢社会を迎えることが予測されておりまして、シルバー人材センターの使命と役割は、今後ともますます増大する一方であります。

従いまして、今後は、会員数の増加と事業量の増大、業務範囲の拡大についてなお一層の努力をお願いし、シルバ

就任にあたって



事務局長
柳澤 恒彦

去る四月一日付け、人事異動により派遣職員として就任致しました。若輩ではございますが、会員皆様はじめ事務職員と共に、会員一人ひとりの健康と当センターの一層の躍進を目指し、会員ともども一丸となって鋭意頑張る参りたい決意でございます。

幸いにも私は、シルバー人材センターでの仕事が一度あります関係から、福祉分野の経験を生かしながら、会員の皆様の幅広い体験と深い見識とご指導を頂きながら、創意工夫、創造を展開して参りた

いと思っております。

歳月の流れは早いもので、来年は十年目の素晴らしい記念行事が行なわれるまでに発展されたことは、会長を先頭に理事会を軸に、会員一人ひとりと事務局職員とのたゆまぬ連携と献身的な功績の賜ものと思っております。

当シルバーセンターの業績も、年々着実に進展し事業拡大しておりますことは、喜ばしいかぎりではございますが、シルバー人材センターがその自主性を確立して行くためには、事業理念であります自主性、自立的な組織活動を推進し会員相互が触れ合い、助け合いながら仲良く働く共働、共助の事業活動を会員や役員リーダーが実践しなければならぬものと思慮しております。今後とも私は、会員一人ひとりの豊富な人生経験を生かすための「場」の確保や受注の拡大に努め、更には、働

く職場の環境を少しでも理解し、健康で、しかも笑顔で働ける条件整備に可能な限り努めて参りたいと存じます。

会員皆様の御理解と御協力を賜りながら、人間関係を大切に和をもちながら、事業の推進を図って参りたいと存じます。

今後とも事務局一同の御協力をお願い申し上げます。

地区班長会議

第一回地区班長会議が去る九月二十一日に開催されました。

これは従来からの地区懇談会にかえ、今年度から地区班長会議となったものです。地区会員の多くの声を集約、問題を解決するために開かれるものです。皆様の意見をどうぞ。

生活感の充実、福祉の増進を図りましょう。

流山市シルバー人材センター 年度別契約額表

月別	平成元年度		平成2年度		平成3年度		平成4年度	
	件数	契約金額	件数	契約金額	件数	契約金額	件数	契約金額
4	89	5,180,407	144	7,637,435	146	9,205,809	136	11,604,379
5	118	5,455,495	151	8,367,288	153	11,171,378	140	11,852,107
6	173	7,333,690	196	9,826,442	171	9,506,907	158	12,743,157
7	177	7,542,158	207	8,996,114	182	10,972,818	183	14,119,243
8	148	7,608,714	146	9,328,752	144	10,346,512	140	10,541,464
9	168	7,281,255	171	8,756,217	151	9,237,213	168	11,528,606
10	178	7,819,107	198	9,902,119	161	9,859,987		
11	167	6,978,587	189	9,008,755	183	10,528,745		
12	138	6,119,011	178	8,948,853	178	9,790,099		
1	86	4,735,107	118	7,618,123	109	7,704,013		
2	101	4,918,494	126	8,106,579	109	8,580,028		
3	121	8,253,405	125	8,522,465	115	8,774,896		
合計	1,664	79,225,430	1,949	103,508,267	1,802	115,678,405		

理事・地区班長名簿

地区	理事氏名	班長氏名	電 話	担 当 地 区
1	河内 正八 53-1528	山 田 富 雄	54-4543	西深井
		白 川 源之進	52-7784	深井新田・美原
		吉 田 貞 次	54-8632	西深井
2	出雲 雅成 55-4746	五十君 利	52-3697	東深井
		渡 辺 政治郎	53-0492	こうのす台
3	麻生 修 52-0249	佐 藤 仁	52-2542	江戸川台西1～2
		鈴 木 鶴 三	54-2690	江戸川台西3～4・北・小屋・上新宿新田 富士見台(全域)
4	大谷喜一郎 52-1707	鈴 木 政 信	52-0553	江戸川台東1～2
		吉 川 政 雄	52-8975	駒木台・青田
5	中國 利男 55-2029	本 田 初五郎	52-1732	西初石1～3
		武 藤 孝 助	52-5275	西初石4～6
		前 田 近 徳	54-4186	若葉台・上新宿・桐ヶ谷・南・谷・上貝塚 下花輪・大畔
6	植草 実 52-8125	熊 谷 千 一	52-3603	東初石1～3
		植 草 実	52-8125	東初石4～6
		高 橋 久 市	54-3865	駒木・美田・十太夫
7	増沢 茂 50-0886	血 矢 茂 吉	58-1766	流山(全域)
		岡 野 雄 三	59-9132	平和台(全域)・中・前平井・後平井
		丹 羽 博	59-2865	三輪野山
		甲 田 実 義	59-2135	加
8	松谷 幸一 46-0930	小 室 重 夫	45-9555	野々下(全域)・長崎(全域)・柴崎・ 古間木・市野谷
9	久下沼 満 59-8915	根 村 次 郎	58-4054	南流山(全域)・鱈ヶ崎の一部・西平井・木
		上 原 一 郎	58-6688	鱈ヶ崎団地・三本松・思井・宮園(全域)
10	鶴丸貴美男 44-6427	遠 峰 茂	74-1455	向小金(全域)・前ヶ崎
		鳥羽田 てい	45-5497	松ヶ丘(全域)・西松ヶ丘・名都借

事務局紹介

事務局長

柳澤 恒彦

次長

佐藤 範一

庶務

渡辺キミ子

庶務

中山百合子

業務

渡辺 四郎

業務

石山 文男

業務

高橋 武明

勤労者福祉センター

吉野 芳矩

所長

石田千津子

編集後記

思いは山ほどありますが、
なかなか言い表わせず本号も
結びとなりました。次号は会
員の皆様の声を、大いに発表
したいと思っております。

会報編集委員

塩島 性一

岡村 三郎

事務局

協力者

久下沼 満

犬養 吉胤